

(特用作物-いぐさ-栽培)

(筑後-い草栽培)

課題名	3 いぐさ先刈方法の改善		分類	①																																										
	(2) いぐさ中間刈栽培における先刈方法																																													
試験研究年次	62~1年(完了)																																													
<p>I 目的 中間刈栽培ではこれまで普通刈栽培基準に準じて先刈りを行ってきたが、作柄の安定化と品質の一層の向上を図るための適正な先刈方法を明らかにする。</p>																																														
<p>II 試験方法</p> <p>1 供試品種 いそなみ</p> <p>2 試験区の構成</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">62年</th> <th colspan="2">63年</th> <th colspan="2">1年</th> </tr> <tr> <th>先刈期</th> <th>先刈高さ</th> <th>先刈期</th> <th>先刈高さ</th> <th>先刈期</th> <th>先刈高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>刈取前70日</td> <td>35、40、45cm</td> <td>72日</td> <td>35、40cm</td> <td>70日</td> <td>40cm</td> </tr> <tr> <td>" 59</td> <td>35、40cm</td> <td>67</td> <td>35、40、45cm</td> <td>65</td> <td>35、40、45cm</td> </tr> <tr> <td>" 54</td> <td>35、40、45cm</td> <td>62</td> <td>35、40cm</td> <td>60</td> <td>35、40cm</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>56</td> <td>40cm</td> <td>55</td> <td>35、40cm</td> </tr> <tr> <td>対照 59</td> <td>45cm</td> <td>62</td> <td>45cm</td> <td>60</td> <td>45cm</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 耕種概要 (1) 植付時期 3カ年とも12月1日 (2) 刈取時期 62年は7月4日、63年は7月3日 1年は7月1日(1年) (3) 栽植密度 34.6株/m² (17cm×17cm) (4) 施肥量(N成分) 55kg/10a</p> <p>4 試験規模 1区 10.4m²、2区制</p>					62年		63年		1年		先刈期	先刈高さ	先刈期	先刈高さ	先刈期	先刈高さ	刈取前70日	35、40、45cm	72日	35、40cm	70日	40cm	" 59	35、40cm	67	35、40、45cm	65	35、40、45cm	" 54	35、40、45cm	62	35、40cm	60	35、40cm			56	40cm	55	35、40cm	対照 59	45cm	62	45cm	60	45cm
62年		63年		1年																																										
先刈期	先刈高さ	先刈期	先刈高さ	先刈期	先刈高さ																																									
刈取前70日	35、40、45cm	72日	35、40cm	70日	40cm																																									
" 59	35、40cm	67	35、40、45cm	65	35、40、45cm																																									
" 54	35、40、45cm	62	35、40cm	60	35、40cm																																									
		56	40cm	55	35、40cm																																									
対照 59	45cm	62	45cm	60	45cm																																									
<p>III 主要成果の概要 中間刈栽培のいぐさについての適正な先刈法は普通刈栽培と同じであることを明らかにした。</p> <p>1 先刈時期が刈取前70日では収量は多いが、先枯れ茎数が多くなり、品質が低下する。また、先刈時期が遅い(刈取前55日先刈り)場合には収量が低下する傾向にある。</p> <p>2 先刈時期が刈取前60、55日では、先枯れ茎数が少なく1m乾茎重も重く、品質が向上する。</p> <p>3 先刈高さ35cmでは先刈時期が遅い場合には収量が低下するので、40~45cmがよい。</p> <p>4 収量・品質面から判断すると、中間刈栽培における適正な先刈法は普通刈栽培と同様に刈取前60日、先刈の高さは40~45cmである。</p>																																														

IV 主要成果の具体的データ

第 1表 先刈時の生育

年次	茎長 基数	
	cm	本/株
62	69	83
63	70	100
1	63	88

注) ① 調査は刈取前60日
 ② 6反復の平均値で示した。

第 2表 先刈りの時期・高さと同量

先刈期	高さ	長茎重標準比 (%)		
		62年	63年	1年
刈取前	cm			
	35	116	107	-
	40	113	105	104
70	45	115	-	-
	35	-	99	110
	40	-	95	99
65	45	-	105	105
	35	95	83	100
	40	99	93	101
60	45	100	100	100
		(923)	(997)	(957kg/10a)
	35	92	-	-
55	40	92	82	100
	45	97	-	98

第 3表 先刈りの時期・高さと同量と原草品質

先刈期	高さ	62年				63年				1年			
		老熟茎割合	先枯茎数率	変色茎数率	1m乾茎重	老熟茎割合	先枯茎数率	変色茎数率	1m乾茎重	老熟茎割合	先枯茎数率	変色茎数率	1m乾茎重
刈取前	cm	%	%	%	g/100本	%	%	%	g/100本	%	%	%	g/100本
70	35	21	15	5.2	34.0	19	21	5.2	32.5	-	-	-	-
	40	20	13	5.5	33.7	20	23	5.2	33.2	21	13	10.7	32.8
	45	22	13	7.5	32.9	-	-	-	-	-	-	-	-
65	35	-	-	-	-	17	20	5.9	34.5	16	12	8.7	31.8
	40	-	-	-	-	15	16	5.9	32.9	20	11	7.6	32.3
	45	-	-	-	-	19	17	5.9	32.8	20	10	10.9	33.8
60	35	22	7	6.0	36.6	14	15	5.3	34.5	20	10	11.9	33.5
	40	19	11	5.4	34.3	14	15	5.4	33.3	22	12	8.4	33.9
	45	21	10	5.7	34.9	17	16	5.6	33.6	17	9	4.6	33.5
55	35	18	6	5.7	34.9	-	-	-	-	-	-	-	-
	40	16	4	6.2	36.6	14	16	6.7	33.5	14	3	8.3	32.0
	45	17	4	5.3	33.6	-	-	-	-	20	6	11.8	31.7

注) ① 調査対象は先枯茎数率：茎長105~120cm, 老熟茎割合, 変色茎数率：105cm以上の茎
 ② 1m乾茎重の調査部位は根元から 3~ 103cm

V 成果の評価と取扱上の留意点
 中間刈栽培における先刈方法の参考資料となる。

VI 今後の研究上の問題点

VII 資料名 62~元年度 福岡県農業総合試験場筑後分場 いぐさに関する試験成績書